



9/30(水) 本を介して対話を楽しむ「ビブリオバトルガイダンス」

全学年、体育館に集まり実施しました。ビブリオバトルとはどういうものかと言うと……①自分のおすすめの本を指定時間内で紹介する ②紹介者と聴衆とが質疑応答する ③「どの本を一番読みたくなったか」を基準に投票を行う ④最多票を集めた本を「チャンプ本」とする。以上のような手順で進められる「書評合戦ゲーム」です。本校では読書活動の一環として、毎年秋に実施しています。



まずは、どういうものなのか、実際に生徒たちに示範することが必要です。そのために行われるガイダンスでは、例年、新任職員がその重要なミッションに当たります(私は昨年やりました～)。以下、3人の先生たちの発表を聞いた私の感想です。U先生……『イスラム飲酒紀行』(高野秀行)。ルポルタージュです。本のチョイスが高校生には少々刺激的です。著者の名前が私と同じですが、内容も自分の趣味・関心に近いものを感じました。K先生……『運転者 未来を変える過去からの使者』(喜多川泰)。運を自分に引き寄せる条件は「上機嫌」なのだそうです。なるほど、イライラしていたら損ですよ。



ね。目の前のことがどんなことであれ、できるだけポジティブに捉えて生きていきたいものです。教頭先生……『RDG レッドデータガール』(荻原規子)。ファンタジーの面白さとともに、主人公ヒロインの日常を通して、自身の存在価値や「かけがえのないもの」を考えさせられる作品とのことです。アニメ化もされているとのことですから、中高生を惹きつけ、多く読まれている本なのでしょう。

質疑応答では、本を介して先生と生徒が対話。こういうシーンは実にいいですね！次は生徒たちの番です。まずは本を一冊、手にしてほしいです。ビブリオバトルクラス予選は11/4(水)を予定しています。

9/28(月) 全校朝礼で多数の表彰

まずはアーチェリー部。8月に開催された全国高校総体で男子個人2位の中袴田遊君(2年)をはじめ、県新人戦で上位入賞した他の選手たちも表彰しました。なお、九州新人大会は17(土)・18(日)に市来運動場で開催されますので、多くの方に応援に来てほしいです。さらには、中袴田君と吉留吾紳君(1年)、玉龍高生との3人チーム(少年男子)が、5日から青森市で開催される国民スポーツ大会に、県代表として出場します。善戦を期待します。



続いて、南日本硬筆展に入賞した3名、漢字検定2級・準2級に合格した生徒15名をそれぞれ表彰・紹介しました。